

●待降節第三主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第九十七編」

神に従う人よ、

主にあつて喜び祝え。

聖なる御名に感謝をささげよ。



## 神を探し求める人に

神はフィリポをエルサレムからガザへ下る荒野の道へ遣わされました。そこには、エチオピア女王の高官である宦官が馬車に乗っていました。彼は神を礼拝するため、約2500キロの道のりを旅してエルサレムに来ていたのです。アフリカの砂漠やシナイ半島の荒野を越える過酷な旅を、恐らく何ヶ月にも渡って続けていました。彼にとつて、あらゆる労苦も負担ではなく、惜しいものもなかったのではないのでしょうか。

ところが、異邦人である彼は神殿を訪れても、最も外側にある「異邦人の庭」までしか入れませんでした。その境目には「ここを超える者は自らの死に責任を負う」という警告板が立てられていたのです。神に近づけないという現実。それが異邦人の立場。それでも彼は最も外側であつても、そこに身を置いていただけで心が満たされながら、礼拝をささげていたのではないかと思います。

帰り道、宦官はイザヤ書55章、キリストの十字架が予告されている箇所を朗読していました。しかし彼には、この預言が誰のことか分かりませんでした。その時、聖霊が「追いかけて、あの馬車と一緒にいけ」と命じ、フィリポが走り寄り「読んでいることがわかりますか」と聞くと、宦官は「手引きしてくれる人がいなければ、どうして分かりましょう」と言い、「この方はどなたですか。どうぞ教えてください」と願ひ出たのです。

神は2500キロの道のりを越えてくるほどに神を慕い求め、帰り道も真理を探し求めているこの人に、目を留めておられました。天使もフィリポも全てを動かすほどの御心を、この一人の異邦人に注いでおられたのです。

フィリポはその彼に主イエスのことを証します。主は人々に捕らえられ、嘲られながらも、屠場に引かれる子羊のように黙して耐え忍びました。傷だらけの身

体で十字架を背負い、苦難の道を歩まれました。そして十字架につけられ、死なれたのです。全ての人の罪を贖い、人を生かすためでした、と。

宦官は福音を聞く中で、心砕かれていきました。主は「私の罪のために」死んでくださった。この方こそ「私の救い主」と受け入れ、神の前に罪を悔い改めていたのです。やがて水のある場所に着くと、彼は「洗礼を受けるのに何か妨げがあるでしょうか」と願ひ出しました。かつて神殿では「妨げ」があり、神に近づけなかった彼が、今やキリストにあつて何の妨げもなく洗礼を受け、主と共に歩む者とされたのです。

洗礼を受けて水から上がると、聖霊がフィリポを連れ去りましたが、彼は喜びに溢れて旅を続けたのです。神殿では異邦人ゆえに近づけない領域がありました。しかし今や、神はイエス・キリストにあつて、その異邦人である自分をも受け入れてくださった。その喜びと感謝で、心が満たされていたのではないのでしょうか。

聖書は、主が十字架で死なれた時、神殿の垂れ幕が真つ二つに裂けたと伝えていきます。神が臨在される場所への道が開かれたのです。すなわち、主の十字架によつて、全ての人が神に近づく道が開かれました。人種も国籍も関係なく、サマリア人のためにも、エチオピアの宦官のためにも、そして私たちのためにも、神は御子イエスをお与えくださったのです。

アドベントを迎えた今、イエス・キリストがこの世に来てくださった、私たちのために十字架を背負ってくださった、その深い恵みを心に刻みたいと思います。私たちも宦官のように、主の十字架が「全て私のため」であつたことを心低く受け止め、主イエスと共に信仰の旅を歩んでいきましょう。

(使徒八章二六―三章一〇―四〇節 宮間彰広兄)

2025年度

## 教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

## 《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、讃美集会を地下ホールで短く行います。讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○ 定例役員会をカナルームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 来週二一日(日)はクリスマス礼拝です。礼拝は二〇時四五分開始ですので、お間違えのないようにお越しください。

## 《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

## 《礼拝伝道委員会より》

クリスマスイブ礼拝で使用するペンライトの電池入れと点検をいたします。ご奉仕いただける方は、ホールでの讃美集会後にロビーにて奉仕作業をお願いいたします。

## 《教会学校より》

次週の子ども礼拝は礼拝堂で行います(朝の讃美九時一〇分〜礼拝九時二〇分)。どうぞ大人の方も一緒に捧げし恵みにあずかりませんか。礼拝後ホールで教会学校の生徒によるページェントをいたします。六年ぶりの取り組みです。ぜひご覧になつてください。

## 《教育奉仕委員会より》

「証しと祈りの会」の発表者を募集しています。次週一二月二一日が締切となりますので、まだの方はお早めにお願ひします。

## 《ディアコニアショップより》

ローズンゲンが届いていますので、お申し込みされた方はショップまでお越しください。

# 《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

（司・会）の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇九十七篇】

主こそ王。全地よ、喜び躍れ。

多くの島々よ、喜び祝え。

密雲と濃霧が主の周りに立ちこめ

正しい裁きが王座の基をなす。

火は御前を進み

周りの敵を焼き滅ぼす。

稲妻は世界を照らし出し

地はそれを見て、身もだえし

山々は蟻のように溶ける

主の御前に、全地の主の御前に。

天は主の正しさを告げ知らせ

すべての民はその栄光を仰ぎ見る。

すべて、偶像に仕える者

むなししい神々を誇りとする者は恥を受ける。

（司・会）

神々はすべて、主に向かってひれ伏す。

シオンは聞いて喜び祝い

ユタのおとめらは喜び躍る

主よ、あなたの裁きのゆえに。

あなたは主、全地に君臨されると高き神。

神々のすべてを超え、あがめられる神。

主を愛する人は悪を憎む。

主の慈しみに生きる人の魂を主は守り

神に逆らう者の手から助け出してくださる。

神に従う人のためには光を

心のまっすぐな人のためには喜びを

種蒔いてくださる。

（司・会）

神に従う人よ、主にあつて喜び祝え。

聖なる御名に感謝をささげよ。

# 《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「救い主の誕生」

聖書 ルカ2章1〜7節

説教者 宮間 彰広兄

# 《次週の礼拝》

クリスマス礼拝

●子ども礼拝（午前9時20分・礼拝堂）

説教 「クリスマスの喜び」

聖書 マタイ2章1〜12節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

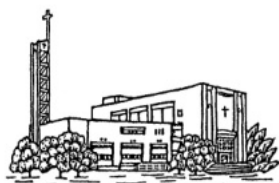
●主日礼拝（午前10時45分・礼拝堂）

讃美歌 106番 108番

説教 「私は主のはしためです」

聖書 ルカ1章26〜38節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 97番 107番  
説教 「主イエスをお迎えして」  
聖書 フィリピ2章1～11節(新約 P.362)  
イザヤ書9章1～6節(旧約 P.1073)  
司式 石川 一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「主キリスト、神のひとり子」J.S.バッハ

### ○讃美歌97番

1. 朝日は昇りて 世を照らせり  
暗きにすむ人 きたりあおげ  
知恵に富みたる主 世にいでたり  
愚かなる人は きたりまなべ

2. 力にみつる主 世にのぞめり  
かよわき人々 きたりたのめ  
安きを賜う主 世にくだれり  
苦しめる人は きたり受けよ

3. 救いを賜う主 世に生れぬ  
高きも低きも きたりいわえ  
天地しらす主 世にあらわる  
よろずの物みな どよみうたえ

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

### ○聖歌隊による讃美

「星よ光りて」 川口耕平作曲  
ユダヤの国の小さき村に 悩み苦しむ人々救う  
神のひとり子生まれしことを 知らせよ知らせよ  
星よ光りて 君の君をば拝するために  
暗き夜道も喜び勇み 歩む者をはるか導き  
進めよ進めよ  
星よ光りて  
救いの御子が産声上げて 真白き布で包まれたまい  
静かに眠る馬屋の上に  
止まれよ止まれよ  
星よ光りて

### ○讃美歌107番

- まぶねのかたえに われは立ちて  
うけたるたまもの ささげまつる  
いのちのいのちよ わがものすべてを  
とりてよみしたまえ
  - すくいのみめぐみ わが身に満ち  
かがやくみすがた ところに映ゆ  
たえなるわが主よ きみよりはなれて  
われはいずこにゆかん
  - きらめくあかぼし うまやに照り  
わびしき乾草 まぶねに散る  
こがねのゆりかご にしきのうぶぎぞ  
きみにふさわしきを
  - この世のさかえを のぞみまさず  
われらにかわりて なやみたもう  
とうときまずしき 知りえしわがみは  
いかにたたえまつらん
- アーメン

聖餐曲「世の成らぬさきに」讃21-245 志村拓生

後奏曲「三隻の船(イギリスのキャロル)」D.ワット